

認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員について

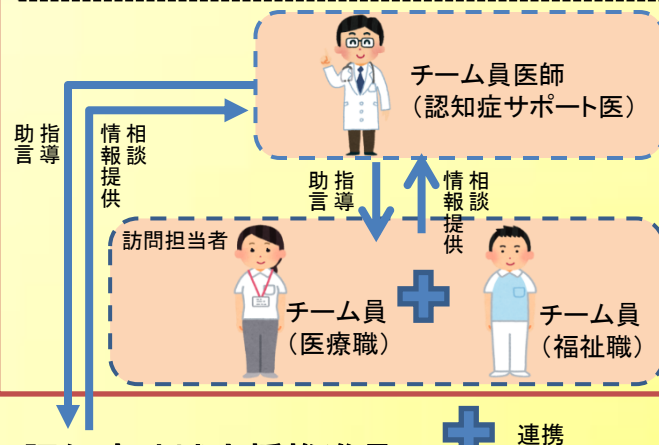
チーム員医師による指導の下に、早期発見、早期診断、早期対応に向けて、以下の体制を地域包括支援センターに整備

- **認知症初期集中支援チーム** 複数の専門職が認知症が疑われる方、認知症の方とその家族を訪問（アウトリーチ）し、認知症の専門医による鑑別診断等をふまえて、（個別の訪問支援）観察・評価（アセスメント）を行い、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行う。
- **認知症地域支援推進員** 一若年性認知症や支援困難症例への対応をはじめ、認知症の方ができる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けることができるよう、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や、地域資源構築の企画調整及び区内の支援機関に向けた認知症対応力向上のための研修や支援等を行う。

区内1か所の地域包括支援センターに設置
（区における認知症の方への支援の拠点）

●認知症初期集中支援チーム

複数の専門職による個別の訪問支援
（受診勧奨や本人・家族へのサポート等）



●認知症地域支援推進員



若年性認知症や支援困難症例への対応
地域の認知症対応力向上
（医療・介護・地域資源と専門相談等）

●専門医療機関（認知症疾患医療センター等）



- 専門的な鑑別診断
- 行動・心理症状外来対応
- 地域連携 等

●かかりつけ医



《認知症初期集中支援チームの主な業務の流れ》

- ① 広報・普及啓発活動、② 対象者の把握、③ 情報収集（本人の生活情報や家族の状況など）、④ 初回訪問、観察・評価（認知症への理解・専門的医療機関等の利用の説明・介護保険サービス利用の説明・本人や家族への心理的サポート）、（認知機能、生活機能、行動・心理症状、家族の介護負担度、身体の様子チェック）、
- ⑤ チーム員会議（観察・評価内容の確認、支援の方針・内容・頻度等の検討）、⑥ 初期集中支援の実施（関係機関と連携し、専門的医療機関等への受診勧奨・本人への助言・身体を整えるケア・生活環境の改善など）、⑦ 初期集中支援の終了・引き継ぎ後のモニタリング